

## ■ 全体講評

午後 I 記述式問題を採点した結果では、まだ問題文や設問文の条件を満足していない解答が多いという状況です。解答を導いた時点で、設問に書かれている条件をすべて満足しているかをチェックしてください。間違った解答を文章の表現力でカバーして解答を書いても、合格レベルの得点を得ることはできません。問題文に書かれた条件を識別するために、まずは、しっかりと読解力を付けるところから始めるとよいでしょう。

次に午後 I 記述式問題を採点した際に挙げた留意点について述べます。

### 1. 指定された方法で問題番号を選択する

全体で 18%の方が間違った問題の選択方法をしています。今回の試験は問題を選択する際に、問題番号のとなりの枠に○の書くのではなく、問題番号を○印で囲みます。なお、本試験では問題の選択方法をきちんと確認して正しい方法で問題を選択してください。

### 2. 解答ができたなら、設問文の後に自然に解答が続くことをチェックする

設問文において、問題点、原因、対策、理由、目的などのうち、どれが問われているのかを確認してから解答を導く作業に入りましょう。理由が問われているにもかかわらず、対策を書かないようにしましょう。

### 3. 句読点を省略しない

記述式問題の多くは文章で解答するため、正しいに日本語を書くために句読点を解答に書き込むようにしてください。ただし、解答の最後の字と句点を同じ枠内に記入して1字と数えてもよいと考えてください。

### 4. 当て字を書かない

「様」、「為」、「事」などの当て字を使わないでください。これについては、論述式問題でも気をつけましょう。次に午後 I 記述式問題の各問についてコメントします。

## ■ 記述式問題講評

### 問1 システム運用

#### 【別解】

〔設問3〕

導入手順を確立して全国展開のリスクを軽減するため。

#### 【解説】

難易度が高い問題であるため、得点率が低い結果となっています。

設問1の(1)と(2)において、同じ方法を解答してい

る答案がありました。正解を導くための条件が設問文に明示されていることを確認してください。正確に設問文に答える解答を作成するようにしましょう。

〔設問1〕

(1) 一般的に、ジョブは先行するジョブの終了を待って、そのジョブが作成したファイルを入力とします。したがって、「方法」の解答について、「ジョブBを30分早く起動する」など、時間起動について解答したものについては、厳しいですが2点の部分点としました。

次の(2)に解答すべき内容を、(1)に解答したケースがありました。厳しいですが不正解としました。

(1)では、解答する際に図5を含むことが設問文で明示されています。(2)では、設問文において図5を参考にした解答は求められていません。(2)の解答は図5を考慮しなくとも導けることを確認してください。

(2) 問題文においてジョブ名やジョブステップ名が明示されている、このような問題では、それを使って解答を作成してください。「CPU使用率によってジョブの振分けを制御する」という解答については、ジョブ名が明示されていないので2点の部分点としました。

〔設問2〕

(1) 「支店と営業所の間で直接の通信ができない」あるいは「本社を経由しなければならない」というキーセンテンスを含まない解答は不正解としました。

(2) 設問において「可用性の向上以外に」と書かれているので、この条件を満たさない解答については不正解としました。

〔設問3〕

「なぜ」を繰り返して、理由として適切な解答を導きましょう。たとえば、「導入作業におけるテスト作業の効率化」という解答について考えます。この場合、なぜ、効率化ができるのかと問うと答えることができます。その答えがこの設問の正解です。「なぜ」の繰り返しは不十分であると、得点できる設問も逃してしまいます。気をつけましょう。

設問の「一つの営業所」という記述を基に、支店よりも営業所の方が、規模が小さいことから「障害発生時の影響範囲を局所化するため」という解答についても2点の部分点としました。

なお、段階移行方式のパイロット移行方式を採用した場合、「導入手順を確立して全国展開のリスクを軽減する」というメリットがあります。これについても正解としました。

## 問2 セキュリティ管理

【別解】なし。

【解説】

本試験では得点源になる分野です。問題文と設問文をしっかり読んで、解答を導く条件を識別して、専門知識だけでは解答しないようにしてください。

設問1ではシングルサインオンというキーワードを使っていない解答が大半でした。問題文に書かれた表現を使って解答することは基本ですが、記述式試験ではそれ以上に、午前問題レベルのキーワードを使って簡潔に表現できることも求められていると考えてください。

〔設問1〕

特権IDとシングルサインオンが解答に必須のキーワードです。どちらかだけの場合は、2点の部分点です。

理由では「すべての特権を」、「特権を一度で」という表現がある解答を正解としました。「特権」だけの表現は2点の部分点としました。

理由において「特権の特権IDで設定しているから」という解答がありました。通常、特権は特権IDを使って設定するため、不正解としました。

〔設問2〕

時間、時刻、日時をきちんと使い分けるようにしてください。この場合は日時です。

タイミングについては「ログインが成功した」あるいは「ログインした」という解答を正解とし2点の配点としました。

「ログイン時」は不正侵入者に侵入のための情報を与えることになるので不正解としました。

表示する情報については、「ログイン操作の日時」と「その成否」を正解とし、それぞれ2点の配点としました。

この設問では、三つのキーワードがあると満点の6点です。

〔設問3〕

(1) 問題文の〔モバイルPCの紛失時の対処手順〕や〔モバイルPCの盗難による影響度調査〕ではUSBメモリキーが論点になっています。それにもかかわらず、〔事故対策〕では対策が講じられていません。したがって、USBメモリキーについての解答が求められていると考えてください。厳しいですが、USBメモリキーに関する解答だけを正解としました。

(2) 照合あるいは突合というキーワードが入っている解

答を正解としました。意味が合っている、これらのキーワードがない解答は3点の部分点としました。また、ログというキーワードがない解答についても、3点の部分点としました。

「モバイルPCとUSBメモリキーを別々に管理する」という解答については、〔モバイルPCの盗難による影響度調査〕の(1)において、すでに別々に管理しているので、不正解としました。また、「先週と比較しアクセス権の変更があった場合は、申請書の有無を確認する」という解答がありました。この解答では申請書があっても、故意に変更しないということが可能になります。したがって、不正解としました。

〔設問4〕

リスクについては、紛失や盗難というリスク以外に、設問の「第三者がいるという点に留意すると」という条件を満たす、モバイルPCにおいて考えられるリスクを正解としました。

対策については、リスクに応じた技術的対策を正解としました。

## 問3 システム移行

【別解】なし。

【解説】

解答欄の数が四つと少ないため、各解答の配点が高くなっている問題では、キーワード、キーセンテンスをしっかり解答に盛り込むようにしてください。具体的に書くと、設問3(2)では、図4から「現店舗B群のデータ」を注文システムに取り込む機能が必要であることを読み取る必要があります。

〔設問1〕

既存の処理が正解となるため、意味が合っているも正解と一致しない解答については2点の部分点としました。

〔設問2〕

「新店舗での運用訓練によって入力された」、「新店舗の注文データを注文DBから削除する機能」というキーセンテンスを各5点とし、言葉が足りない解答については減点して採点しました。

〔設問3〕

(1) 「商品DB変更データの入力を現行と新注文システムの両方で行う」、「両方の商品DBの整合性を確保」というキーセンテンスを各6点とし、言葉が足りない解答については減点して採点しました。

(2) 「売上計算処理と帳票作成処理のため」あるいは「発注伝票」というキーワードを使った文章、「現行注文システムに入力された現行店舗B群のデータ」、

「注文システムに取り込む機能」というキーセンテンスを各4点とし、言葉が足りない解答については減点して採点しました。

#### 問4 障害管理

【別解】なし。

【解説】

この問題では設問文だけ読んで解答が思いつきますが、問題文に真の正解を導くヒントが書かれています。高得点できる解答を導くためには、設問文にかかれたキーワードを基に問題文の該当箇所を正確に識別するようにします。たとえば設問1(1)では、“ヒアリング”というキーワードを基にして、問題文の該当箇所を識別します。

〔設問1〕

(1) 設問文からヒアリングすべき項目が問われています。

ヒアリングすべき項目としては、発生時刻など、いろいろな項目が考えられます。そこで、問題文の“そこで、H営業所に連絡して状況を詳細にヒアリングしたところ、障害発生したパソコンを含めてH営業所のほぼ半数が公開Webサービスや電子メールサービスを使用できないことが判明した”という記述から、解答を導いて欲しいです。

一つ目の解答については「公開Webサービスや電子メールサービス」あるいは「Webサイトの閲覧以外のサービス」について書いている解答、二つ目の解答については“営業所内の他のパソコン”について書いている解答を正解としました。

(2) 設問文に書かれている手順とは、物事をする順序です。したがって、順序について答えていない解答は2点の部分点としました。また、この設問では改善すべき点が問われています。厳しいですが、内容にかかわらず、改善すべき点に当てはまらない解答は大幅に減点としました。

〔設問2〕

(1) 公開Webサービスについては、全面的にIDに移行する点に留意してください。C社の本社に落雷があっても、公開Webサービスは継続でき、サービス停止を部分的に回避できます。なお、すべて同じ番号にした解答はすべて不正解としました。

(2) 図1の注釈からルータA2だけが、専用線を集線する機能があることが分かります。“ルータA2”を必須キーワードとして、このキーワードがない解答は厳しいですが、内容にかかわらず不正解としました。UPSのハウジングや電源設備の二重化など電源設備に関する解答が多かったです。問題文の表にあるとおり、IDCの電源設備に問題はないのですべて

不正解としました。

〔設問3〕

設問文において問われているのは“問題点”です。内容にかかわらず、“問題点”に当てはまらない解答は不正解としました。この設問において得点に必要なキーワードは“ログ解析を行う技術力”です。

#### ■公開模擬試験に向けて

〔午前 多肢選択式問題〕

今回の試験で得点の高い方も安心はしないで、日々の学習を心がけるようにしてください。得点の低い方は、もう一度、学習方法や学習時間をチェックして、得点力をアップできるようにします。他の分野の試験の合格経験がある方は、過去問題や予想問題の学習をするとよいでしょう。弱点分野が分かったら、該当する部分のテキスト学習をするというアプローチ方法が有効です。

〔午後I 記述式問題〕

攻略法としては、設問文を先に読む方法と、後から設問文を読む方法があります。前者の長所は、高得点できると思われる問題を選択できることです。後者の長所は、問題文を、設問文の内容に左右されずに、問題文を読解できることです。記述式問題の学習の最終段階では、両方の方法を試して、自分にあった方法を選ぶようにするとよいでしょう。

本試験や予想問題の記述問題を解く際には、各設問の解答をノートに書いてから、解答解説を読むようにしてください。ただし、分からない問題は、すぐに解答を見るのではなく、該当する分野の知識を増やしてから再度チャレンジするようにしましょう。問題文を読んで、解答解説を読むという学習方法は「読書」です。読書では本番での実力を養うことは難しいので、十分に考えた解答を、実際に鉛筆を使って紙に書いて記号書の訓練を心がけましょう。

以上